

タカラコラボラボ 第12回・第1期第12回TaCoLAB（宝塚市協働のまちづくり推進会議） 議事録	
開催日時	令和7年（2025年）3月25日（水）10：00～11：30
開催場所	3B・3C会議室
次 第	1 開会 2 議事 （1）つながりカフェ TaCoLAB について （2）協働の事例集の更新について 3 その他 4 閉会
出席委員	田中会長、加藤委員、遠座委員、永崎委員、大関委員、岡田委員、橋之爪委員、松村委員、龍見委員
開催形態	公開（傍聴人1名）

1 開会

事務局から、本日の出席者は9名であり、宝塚市協働のまちづくり推進会議規則（以下「規則」という）第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は1名であることを報告した。

2 議事

（1）つながりカフェ TaCoLAB について

ア 3／5（水）実施 第6回作業班報告

表記について事務局より資料に基づき報告を行い、意見交換を行った。

（ア）（会長）今の説明について何か意見はあるか。

（イ）（会長）私の方から話させていただく。資料2の第3回のアンケートのところに「最初は趣旨がわからなかったが」とあるが、始める際は趣旨の説明等ではなく、自然に始まったのか。

（ウ）参加していたが、委員の方から初めにグランドルールの説明があったので大丈夫かなと思う。

（エ）（事務局）今委員のみなさんの口コミや推薦で来ていただいている、趣旨などを説明したチラシ等がない状況なので、行く前は趣旨等がわからない場合があるかもしれない。実際に来てもらったら説明していただいているため、理解することができたと思う。

（オ）（会長）回数を重ねていって、チラシなどで周知できるといいと思う。

（カ）（事務局）今、プレでやっている状況であるため、趣旨がわからず、当日グランドルールで知ることになるため、こういった意見がでたのかなと思う。

今後プレが終わって本格的にやっていくとなると、先ほど会長がおっしゃったようにチラシを作成することになると思う。そのチラシに趣旨をまとめたものも記載して、楽しんでもらえて、ほっこりできるような場所になればと思う。

- (キ) 第3回に参加した際に知人も参加してくれた。第1回のアンケートに「発言の割合が委員8、参加者2だった」とあるが、知人もあまり積極的に発言するタイプではないため、もっと委員が話を振るなどして話せるタイミングを作れた方がいいかなと思った。
- (ク) (会長) 初めて来る場所なので緊張されていたかもしれない。
- (ケ) (キ委員) すぐになじめる人とそうでない人がいる。
- (コ) (会長) 慣れてきたら沢山話してくれる人も増えると思う。最初のどういう人なのかを知るまではやはり難しい。
- (サ) (キ委員) ファシリテーターや委員が周りを見て話したそうな人などに声をかけられたらいいかなと思う。
- (シ) (会長) その方は時間を経たらどうだったのか。話せるようになっていたのか。
- (ス) (キ委員) そこそこ話せていたと思う。
- (セ) その方がたまたまギャル風の格好をしていたのでそのことをきっかけに別のゲストの方が話をふったりすることがあった。話せるタイミングを作ってあげることが大事だと思う。
- (ソ) (会長) あまり話せていない人に話をふっていくという感じという意味ではファシリテーターがというよりかは委員のみなさんが気遣ってやっていくというイメージになる。
- (タ) (会長) 出られていない方はあまりイメージがしづらいと思うので、なにか聞きたいことがあれば聞いてもらえればと思う。
- (チ) 参加したことはないが、別のサロンに参加したことがあるのでイメージはできている。難しい話だとなかなか入れないと思うので、身近な話ができるイメージしやすいと思う。
- (ツ) (事務局) 私も参加させていただいて、初めはなかなか自分から話すことができなかったが、話始めると皆さん相槌を打って聞いてくださるので、話しやすかった。タイミングさえあれば、もっと話せる人が増えると思う。
- (テ) (会長) 次は場所について。先ほど説明して下さったが5月は屋外でということか。
- (ト) (事務局) 今回11:30~13:30としているのは丁度ランチタイムだということで、作業班で意見交換して時間設定をした。絶対食べようということではなくて、家から持参してもらっても構わないし、宝塚料理店でお弁当を買ってもらって椅子を借りて参加してもらってもいいと思う。お昼ご飯を食べたくない方も参加してもらって構わない。5月は食べたい人は

お昼ご飯を食べながらやってみようかという感じ。

- (ナ) 話を聞いて思ったのは5月だとかなり紫外線が厳しいため、何かパラソル等紫外線を予防できるものがあると思う。
- (ニ) (会長) 最近は皆さん紫外線対策で気を付けている方が多い。
- (ヌ) (事務局) もしかしたら、あるかもしれないが今は思いつかない。十数人参加するとなるとおそらく1つでは足りないので、複数いるとなると難しいような気がする。完全な外になるので確かに紫外線は気になると思う。
- (ネ) (会長) ここは眺めがいいのでそういったスポットとして作られたのか。
- (ノ) (事務局) この場所は市役所の中に市民の癒しのスポットを作ろうということのできた場所になる。市としても何かイベントなどで使っていこうとしている。つながりカフェとしても利用出来たらと思う。SORABEN(ソラベン)は宝塚料理店がお弁当を買ってくれた人に河川敷等外で食べるときに椅子などを貸し出しているサービスになる。パラソルが使えるかはなんとも言えない。帽子を被って、日焼け止めを塗ってもらう等、各自で対策いただくしかないと思う。5月なので日によっては暑い日があると思う。屋外なので気温・天候等調整が難しいが、服装である程度カバーできるのではと思う。6月になるとかなり暑くなるのでやるとなれば5月、もしくは秋ごろになる。
- (ハ) (会長) 就学前のお子さんなども来たりするのか。
- (ヒ) (事務局) 平日のお昼に開催であるため、来るとしたら、就学前、又は幼稚園や保育園に行っていない子どもになると思う。
- (フ) (事務局) 前回の文芸センターはふらっと寄れたりすると思うが、5月の開催場所は立地的にふらっと来て辿り着ける場所なのかというのは気になる。これを機にみなさんにこういった場所があることを知ってもらうことになる。
- (ヘ) (事務局) 作業班の中でも「なにをやっているのだろう？」というところから「こんな場所があったんだ」という気づきにはなるという意見が出ていた。
- (ホ) (事務局) 看板などがあるとより何をしているかがわかりやすいと思う。
- (マ) 一度紫外線対策をしながらやってみましょう。やらなければ問題も見つからないと思う。第2庁舎の下のところのスペースも人通りが多いため、「何をしているのだろう？」と気を引く良い場所だと思う。
- (ミ) 雨天中止の場合の連絡方法は決まっているのか。
- (ム) (事務局) 前日の天気予報などである程度わかると思うのでこれは絶対無理だなと思ったら中止の判断を早めにしようと思う。来てもらってから中止だと負担も大きいと思うのでなるべく前日に判断する。まだプレで行っているため、中止の判断をしたのち、委員の皆さんにゲストへご連絡してもらう形になる。市のHPにも掲載する予定。せっかく来たのにやっていなかったという状況はなくしたいと思う。

- (メ) 市としてこのスペースをもっと活用してもらいたいということであれば、色々なイベントを考えた方がいいのか？
- (モ) (事務局) この場所の管轄は公園河川課になるが、今、活用方法を考えているところ。70周年のイベントで使って以来なかなか活用できていない。そのような中で私たちとしても何か使えないかということで作業班でも意見が出た。
- (ヤ) (会長) 実施する方向でいいか。ユ委員なにか意見はあるか。
- (ユ) 個人的には参加しようか迷う。少し恥ずかしいかなと思う。普通にお昼ご飯を食べるだけならいいが、つながりカフェをするととなると参加しにくいのではないか。何をやっているのだろうと思ってもらって、飛び入り参加してもらおうというのがあったと思うが、わたしだったらあまり気が向かないかなと思う。自由に参加できるといっても少し怪しいようにも感じる。
- (ヨ) (会長) 看板などがいないため、確かに何をやっているのだろうと怪しいようにも感じるかもしれない。
- (ラ) (ユ委員) 個人的な、プライベートな集まりであれば全然問題ないと思う。プライベートで利用してそういう使い方もできるよと意見をもらうことは全然できると思う。看板立ててここで話しているとするとな逆に怪しいと思う。
- (リ) (事務局) プレの期間中に、委員の方にお声かけ頂いた方以外の参加は、イベントの認知度も低いため、正直難しいと思う。何かをやっているという周知にはなっても知り合いとかでない限り飛び入り参加しようとはならないと思う。今回屋外で行うのは、どのような雰囲気になるのかも含めて体験し、次につなげていくためのものであるという認識を持っていた。屋外・屋内問わず、急にふらっと来る人はいないだろうと思う。
- (ル) (会長) もしかしたらふらっと来る人がいるかもしれないので、やってみないとわからないかなと思う。
- (レ) (事務局) 委員の方の紹介で就学前のお子さんが来られるのであれば、すごくいいことだなと思う。「気軽にランチするから来ない？」という風に声をかけてもらって、来てもらえたら、それをふまえて、プレ期間が終わった後の開催場所・方法の検討につながると思う。お子さんに来てもらえたら会議室よりは外だと走り回れるので楽しいかなと思う。
- (ロ) 普通にランチしよう会であればいいと思う。話はあまりできる感じではないと思う。このベンチに座ったら遠い人は声が聞こえにくいと思う。
- (ワ) (事務局) 席の配置をどうしようかというのは私たちも考えている。SORABEN の椅子等を上手に配置して、グループが分かれることがないようにできるだけみんなで話ができればと思っている。食べても食べなくてもいいとしているが実際一人だけ食べていないということがないように食べなくてもいいが基本的にみんな食べるということを伝えておく必要があ

る。

- (フ) (会長) ご飯を食べながらとなるとそんなに難しい話はできない。そうなる
とどのようなテーマが出てくるのかという興味はある。一度どのような感
じになるのか試してみるという感じで進めていく。他に質問はあるか。
- (ン) 以前参加した学生から、撮った写真などを活動の記録として SNS に掲載し
てもいいかという質問があった。そのあたりの取り扱いをどうするのか確
認したい。
- (ア) (会長) やはり撮った写真を本人に確認せず載せてしまうと問題になる可
能性がある。掲載しないでほしい等があればおっしゃってくださいという
感じにするのが良いのか。
- (イ) (事務局) 参加者が SNS に掲載することについて初めて議論が出たと思う
が、個人的には掲載できるのであれば宣伝にもなるため、掲載してもらった
方がいいと思う。その場合はしっかりグランドルールにも記載して承知い
ただいたうえで参加してもらえばいいと思う。難しい場合は事前に伝えて
もらって対応していく。
- (ウ) (会長) 載せる場合はある程度配慮は必要だと思う。
- (エ) 多分その学生さんは普段からも自分の活動を SNS に掲載しているが、いつ
も顔が写っている場合は隠してくれているので大丈夫だと思う。現在グラ
ンドルールの説明の際にこちら側の写真の撮影の許可は取っているので、
参加者側の写真の掲載についても配慮してもらえよう記載するといいと
思う。
- (オ) (会長) 私も SNS をやっているが、写真に顔が載っていると許可が必要に
なり、どうしても掲載までにタイムラグが発生してしまう。そのため、最近
は顔写真が載っていない写真を載せたり、文章のみの投稿をしたりしてい
る人が増えている。
- (カ) (会長) 先ほどの意見を踏まえながら進めていくようにする。

ア 事例集の作成に向けて

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) 先ほどの説明を聞いて事前に調べておかないといけないことが沢
山あると思うが、質問等はないか。
- (イ) インタビュー先の団体がまったく何をやっているのか知らないので調べる
のが大変になりそう。
- (ウ) (事務局) 事前に事例提供シートを書いてもらったのでそれを共有させて
いただいたうえで、HP があるところもあると思うので、職員からも情報提
供させていただく。
- (エ) (会長) インタビューされる側もインタビューする方が沢山調べてくれて
いると話しやすいと思う。事前情報の取得は大事だと思う。スケジュールを

調整してくれているところだと思うが、日程は決まってきているのか。

- (オ) (事務局) すべては把握しきれていないが、3つほどはすでに決まってきている。

イ 事例掲載ホームページのタイトルの意見出し

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) タイトルの協働の事例集というのは市としてなにか案は持っているのか。
- (イ) (事務局) タイトルが「協働の事例集」だと少し堅く感じる。もっと読みたくなるようなタイトルについてご意見をいただきたい。サブタイトルなどで「協働の事例集」と入ると事務局としては有難い。
- (ウ) (会長) 協働が浮き出せるようなキャッチーなタイトルがあればいい。
- (エ) (会長) 何か意見はあるか。今日意見が出てこなければ次回までにということか。
- (オ) (事務局) 協働の事例集のホームページ公開が早くても7月なので、まだかなり時間はあると思う。今日いきなりお聞きしてもあまり意見が出ないかなと思うので、何か思いついた際にメールで送っていただいて、それをたたき台にして決めていければいいかと思う。
- (カ) (会長) 事例集の作業を進めてくうちに良いタイトルが思いつくこともあるかもしれない。
- (キ) (事務局) インタビューをしたのちに思いつくことはあると思う。楽しいとか嬉しいとかそんな気持ちになれるタイトルがあればと思う。あまりハードルをあげなくてもとは思っている。
- (ク) (事務局) 気軽な気持ちで考えてもらえれば。事務局の方でも案を出したり、生成 AI に考えてもらったりすることも考えている。いくつかの案を組み合わせることもできると思う。
- (ケ) 今他のところのものを調べてみて、参考までに、「コラボレポ（市内協働事例集）」、「コネクト」、「わたしたちのまちづくり」などがあった。
- (コ) (事務局) 何かいい案があればたくさん送ってもらえると嬉しい。

3 その他

4 閉会

以上